

I 自己評価

<p>1 学校教育目標</p>	<p>1 教育目標 生徒一人一人を大切に、自ら学び自ら考える力を育てるとともに、心豊かな人間性を育成し、心身ともに健康で社会に貢献できる人間を育てる。</p> <p>2 教育方針 (1)自らの目標を達成するための確かな学力の定着と主体的な学習態度の育成。 (2)基本的な生活習慣を培い、礼儀や規律を重視した指導の徹底。 (3)「開かれた学校づくり」を推進し、家庭や地域社会から信頼され支持される学校づくり。</p>		
<p>2 スクール・ポリシー</p>	<p>『育てたい生徒像』 グロデュエーション・ポリシー (GP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自ら挨拶する明誠高生」 自他の生命と人格を尊重し、多様な個人と文化を理解することのできる、思いやりをもってコミュニケーションを行うことのできる生徒 ・「積極的に学ぶ明誠高生」 様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くために、自分で目標を設定し、なりたい自分の姿を思い描きながら、生涯を通して学び続けることのできる生徒 ・「ふるさと、海津に貢献する明誠高生」 地域に唯一の高校で学んでいることを自覚しながら、地球的規模の視点から、地域の持続可能性に対する理解を深め、地域の人々と連携・協働して社会貢献できる生徒 	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通科・ビジネス情報科・生活デザイン科の3つの学科がある学校の特色を生かしたふるさと教育の推進 ・探究的な学習過程を重視し、主体的・対話的な深い学びの機会を充実 ・ICT活用授業、習熟度別授業や少人数制授業により基礎学力の定着を図り、多様な進路希望を実現 ・商業に関する専門的な知識と技術を身に付けさせて資格取得を図り、多様化するビジネス社会に対応できる能力と態度の育成 ・地域に根差した福祉活動や交流活動、体験的な学習、資格取得や各種コンクールへの挑戦を通じた、生活における様々な課題解決力と職業観・倫理観の育成 	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、ルールを守り、誠実な態度で高校生活を前向きに送り、自分を成長させようとする意志をもった生徒 ・学習や学校内外の諸活動において、自分の可能性を信じて実践を発展させたり、新たにチャレンジしたりしようとする生徒 ・傾聴する姿勢、自分の考えを伝える力・様々な見方や論理的な考え方を身に付けようとする生徒 ・地域とのつながりを大切に、地域の担い手となって、よりよい社会を築いていこうとする思いをもった生徒

<p>3 評価する領域・分野</p>	<p>◇生徒指導</p>
<p>4 現状の分析</p>	<p>◇外部評価アンケート(令和4年度実施のもの)実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全生徒および保護者にメールを送付しWEBで回答した。 ・保護者、学校運営協議会委員では159人(46%)、生徒は357人(103%)が回答。生徒の回答数が在籍者数を超過。WEB回答のため、回答者の特定ができず、超過の原因は不明である。 ・多くの質問項目で昨年度に比べて今年度はA+B(あてはまる)が大幅に増加し、C+D(あてはまらない)が減少した。 <p>◇アンケートの結果</p> <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身につけさせようとしている。」の項目で89.8%、「本校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」の項目で86.3%があてはまると回答した。職員の姿勢が生徒に伝わっていると思われる。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身につけさせるための指導を行っている。」の項目で77.1%、「学校は個々の生徒の相談に丁寧に応じている。」の項目で75.9%があてはまると回答した。 ▲「学校はいじめや差別を許さず、厳しく対応している。」の項目であてはまると回答した保護者は66.3%であり、他の2項目よりも少し劣る。

5 学校の抱える課題	◇いじめ認知件数が毎年20件を超える。また生徒と保護者のアンケート結果を見ても、「いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」の項目で、あてはまるとの回答がまだ90%を超えない。この項目で100%が当てはまると回答してもらえよう取り組む。		
6 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的実践力の育成と規範意識の醸成に努める。(端正な身だしなみ、非行防止、交通ルールの遵守、情報モラルの向上、人間関係の形成とコミュニケーション能力の育成、積極的な社会参加) ・担任・学年主任・生徒指導主事・教育相談担当など職員相互の連携を強化し、いじめや不登校の早期発見・早期指導に努める。 ・保護者との意思疎通を図り理解と協力が得られるよう努める。また生徒の指導については説明責任が果たせるように努める。 		
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 人権LHRの実施(ひびきあいの日) (2) 情報モラルデーの実施(毎月10日) (3) 教育相談記録による情報共有、いじめ認知からの迅速な報告、対応及び情報共有	(1) 人権LHRでの生徒の取り組み (2) 問題行動(情報モラル違反等)の件数 (3) 職員の組織的取り組み、いじめ認知件数、生徒・保護者のアンケート結果		
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・ひびきあいの日にDVD鑑賞を行い、人権に関する標語を考え、掲示した。 ・毎月10日を情報モラルデーとして、情報モラルの意識を高めた。 ・各先生の生徒に関する相談記録を所定の形式・所定の場所で一元管理し、迅速な報告、情報共有を行った。 	①人権LHRで生徒が主体的に取り組めたか。 ②問題行動(情報モラル違反)が無かったか。 ③記録の一元管理・情報共有、いじめ認知から迅速な報告まで全教員が組織的に取り組めたか。	A (B) C D A (B) C D A (B) C D	
12 成果 課題	○人権LHRでは生徒が前向きに取り組む、全員が人権に関する標語を作成することができた。 ○情報モラル違反の問題行動が0件であった。 ・▲令和5年度実施の外部評価アンケートにおいて「学校はいじめや差別を許さず、厳しく対応している。」の項目では、当てはまると回答した保護者は46.6%と半数を下回り、分からないと回答した保護者は42.3%であった。学校の取り組みが保護者に伝わっていないため、すぐメールやホームページ等で積極的に通知する必要がある。 ・▲令和5年度実施の外部評価アンケートにおいて「本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身につけさせようと努めている。」の項目で89.8%の生徒があてはまると回答したが、一部の生徒の身だしなみが悪く、直らないという実感がある。全教員が生徒のために厳しく指導していく必要がある。		総合評価 A (B) C D
13 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の規則を大切に、全教員が全生徒に指導を行っていく。特に身だしなみについて、登校時、SHR前、授業開始前に全教員が共通して身だしなみの指導を行う。 ・積極的な生徒指導を行い、いじめが起きにくい環境を教員側から作っていく。そのために、クラス単位で他者を許容する態度や、他者を思いやる態度を育成する指導、部活動や委員会への積極的参加を推進して自己決定の機会を増やし、自己肯定感を育てていくよう呼びかけを行う。 ・いじめ認知から組織での対応の流れが全教員の共通認識となるよう定期的に研修会を行う。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月17日

【意見・要望・評価等】 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題に関しては、本質的な課題であるいじめがなくなることが重要である。そうすれば、保護者の認知度の変化につながる。 ・気持ちよく挨拶ができる生徒が多い。基本的なモラルやマナーは、ほとんどの生徒が身に付いているが、一部の生徒の対応が悪いと学校全体のマイナスイメージとなってしまうのが残念だ。 ・高校生たるルールは必要だが、自由な発想ができ、楽しい学校生活が送れるような環境ができるとよい。 ・純朴で穏やかな生徒が多い。もう少し、自分自身に自信をもたせられるように励まし認めて育てるとよい。 ・「自ら挨拶する明誠高生」について、校内ではできていると感じるが、校外となると見ず知らずの人に声を掛けるのはハードルが高い。住民も生徒たちに挨拶し関わっていつてもらいたい。
